

台湾社に修理技術供与

イー
デー
イー
デー

冷却ユニット 省エネ改造も

【静岡】エイディーデ

ィー（静岡県沼津市、下田一喜社長、0555・969・2270）は、半導体装置向けなどのチラー（冷却）ユニットの修理技術を、各種製造現場向け真空装置を手がけているアルバックの台湾法人に技術供与する。エイディーディーの技術者を台湾に派遣し、コンプレッサーを中心とした修理技術や省エネルギー対応の改造技術を供与する。2014年5月期をめぐりにライセンス収入で60

00万円を見込む。

アルバックの台湾現地法人「超淨精密科技股份有限公司（UCPT）」に技術供与する。水やエチレングリコールといった液体を循環するチラーユニットを対象にする。エイディーディーはチラーのフロンガスを抜いてコンプレッサーを付けて替えてフロンガスを再注入し、調整する修理技術を供与する。ユーザーの使用状況を精査し、エネルギーのムダを省く改造技術も供与。改造技術は

日本で実績があり、50%程度の省エネ効果が得られたケースもある。

UCPTは真空ポンプの修理や液晶部品の洗浄などを手がけている。新サービスの一環としてチラーユニットの修理を始めた。台湾では半導体製造装置向けなどのチラー修理への需要が日本よりも多く、「市場規模は日本の3倍ある」（下田社長）としている。

エイディーディーは半導体製造装置向けチラーユニットの製造と修理が

主力。東日本大震災で破損したチラーの修理依頼に対応し、12年5月期の売上高は前期比20%増の3億6000万円を見込む。